

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【公開番号】特開2013-172811(P2013-172811A)

【公開日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-048

【出願番号】特願2012-38562(P2012-38562)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月23日(2015.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガスセルに設けられた排気孔に、通気路を有する封止材と栓基材とを配置する配置工程と、

前記排気孔と前記通気路とを介して前記ガスセル内を排氣する排氣工程と、

前記封止材を加熱して溶融させるとともに、前記栓基材を前記排気孔に押し付ける加熱・加圧工程と、

前記封止材が冷却硬化されることによって前記排気孔を封止する冷却工程と、

を備えることを特徴とするガスセルの封止方法。

【請求項2】

前記排気孔は、内径が前記栓基材よりも大きい第1の部分と該栓基材よりも小さい第2の部分とを有し、

前記配置工程においては、前記栓基材を前記第1の部分に配置するとともに、前記封止材を前記栓基材と前記第2の部分との間に配置し、

前記加熱・加圧工程においては、前記第1の部分に配置された前記栓基材を前記第2の部分に押し当てる

ことを特徴とする請求項1に記載のガスセルの封止方法。

【請求項3】

前記排気孔は管状であり、かつ一部が狭窄した形状である

ことを特徴とする請求項2に記載のガスセルの封止方法。

【請求項4】

前記配置工程においては、前記栓基材の一部又は全部が前記封止材でコーティングされた栓基材を前記排気孔に配置する

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のガスセルの封止方法。

【請求項5】

前記栓基材は、前記排気孔の内径よりも大きく、

前記配置工程においては、前記栓基材の一面に前記封止材がスポット状に形成されており、

前記一面が前記排気孔を覆う様に配置される

ことを特徴とする請求項1に記載のガスセルの封止方法。

【請求項 6】

排気孔を有するガスセルと、
前記排気孔を塞ぐ栓基材と封止材と、
を備え、

前記封止材は前記排気口と前記栓基材と間に配置され、前記ガスセルを封止している
ことを特徴とするガスセル。